

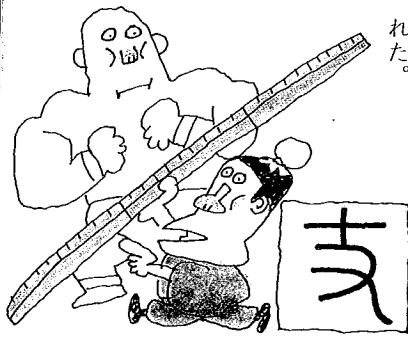
# 丈

おん ジョウ  
たけ

3画 一ナ丈

つぎ出る

**なりたち** 十と又との合字。又は親指と他の指とを広げた長さで、これを一尺といい、丈はその十倍の長さ。立派な成人男子の身長はこれに近いので「丈夫」という言葉が生まれた。



**いみじゆく** 長さの単位。一丈は約三メートル。  
▼丈：非常に高い。【用例】万丈の山。

方丈：①一丈四方。そういう部屋。②寺の住職の住居。

転じて、住職のこと。

▼役者などの芸名の下につけてやまって呼ぶのに使う。

【例】菊五郎丈

▼一人前の男子。

丈夫：成人男子の美称。【例】大丈夫（力のすぐれた立派な男）

▼強くてしつかりしている。丈夫：①からだが健康であること。②簡単にこわれたり破れたりしないこと。

頑丈：からだつきや組み立てが、しつかりしていてこれににくいようす。

**よみかた** 気丈・背丈

# 与

おん ヨ  
あたえる

3画 一与与

はねる

**なりたち** ひしゃくの本字。一を加えた字で、ひしゃくを押しやって「あたえる」ことを表した字。後、與を加えて與となったが、今は旧にもどった。



**いみじゆく** ▼あたえる。  
給与：勤めをする人が報酬として受けとるお金。

貸与：貸し与えること。  
寄与：何かのために役に立つこと。貢献。【用例】フレミングはペニシリンを発見し、医学の発展に寄与した。

天与：天から与えられたもの。【用例】天与の才能。（天から与えられたすばらしい才能）

▼くみする。仲間になる。

与党：同じ意見の仲間。特に政府を支持する政党。【例】野党

関与：かかわりをもつこと。【用例】教育事業に関与する。

参与：事業や組織に関係し、相談を受けること。また、その職の名。

**よみかた** 授与・賞与・譲与・贈与・付与

# 悪

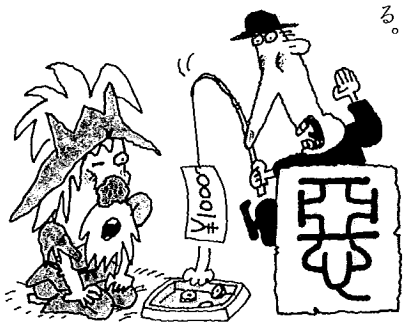
おん アク・オ  
わるい

3画

11画 一ナ百弔亜悪

はねる

**なりたち** 亜と心との合字で「良くない心・わるい心」という意味を表した字。わるいものはだれでも憎むので、「にくむ」という意味にも使われる。



**いみじゆく** ▼良くない。

悪事：悪いおこない。【用例】悪事千里を走る。（悪いおこないは隠そうとしてもすぐ知れ渡ってしまう。）

悪真：いやなおい。

悪態：悪口。にくまれ口。【用例】悪態をつく。

▼醜い。不快な。

險悪：けわしく、恐ろしいような状態。【用例】険悪な表情で私を見た。

▼劣っている。下手。

悪筆：字が下手なこと。

▼にくむ。

嫌悪：憎みきらうこと。ひどく不愉快に思うこと。

**よみかた** 悪意・悪運・悪行・悪質・悪習・悪循環・悪書・悪心・悪声・悪銭・悪戦苦闘・悪党・悪寒・意地悪・害悪・善悪・粗悪・憎悪・俗悪

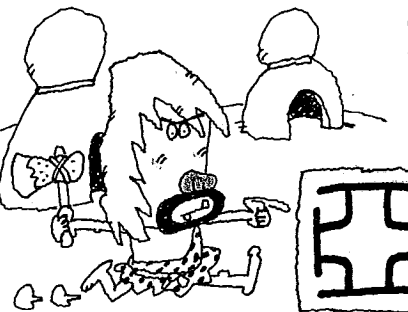
# 亜

おん ア

7画 一ナ百弔亜

ながく

**なりたち** 大昔の穴居時代の家の形を表した字。貧しい人たちは住み心地が悪ければ、もこれに住んだ。それで、「良くない・二流・わるい」の意味に用いられた。



**いみじゆく** ▼長さの単位。一丈は約三メートル。

▼方丈：①一丈四方。そういう部屋。②寺の住職の住居。

転じて、住職のこと。

▼役者などの芸名の下につけてやまって呼ぶのに使う。

【例】菊五郎丈

▼一人前の男子。

丈夫：成人男子の美称。【例】大丈夫（力のすぐれた立派な男）

▼強くてしつかりしている。丈夫：①からだが健康であること。②簡単にこわれたり破れたりしないこと。

頑丈：からだつきや組み立てが、しつかりしていてこれににくいようす。

**よみかた** 気丈・背丈

▼次ぐ。二次的であること。亜聖：聖人に次ぐ大変立派な人。

亜流：一流の人の真似（似）をするだけで、独創性の無いこと。またその人。

亜熱帯：熱帯と温帯との間の気候の地域。

亜目：動植物の分類の一つ。「目」の下（科の上）の段階。

▼化学用語で、酸の一種に使われる名前。【例】亜硫酸・亜硝酸

▼外国語の音の「ア」に当てたもの。【例】亜米利加（アメリカ）・亜細亜（アジア）

▼亜細亜（アジア）の略。【例】欧

▼よみかた 亜鉛・亜寒帯・亜炭



# 亜悪